



# 竹のハーモニカ

## 梵珠少年自然の家

### 1 活動のねらい

- 工夫しながら創作する喜びを味わう。
- 手づくりのものを使って遊ぶ楽しさを味わう。
- 道具の安全な使い方を習得させる。

### 2 活動の概要

真竹を使って、ハーモニカを作る活動です。とても簡単な竹のクラフトで、様々な葉っぱから音を出すことができます。厚い葉、薄い葉、単子葉、落ち葉、広葉樹等の葉っぱからは、2つとないいろいろな音色が出てきます。



<作品例>

- (1) 人数 120人以内
- (2) 対象 小学校5年生以上
- (3) 期間 通年（5～10月は、いろいろな葉っぱを挟み、外で吹ける。）
- (4) 時間 1～1.5時間（説明20分+活動40～70分）
- (5) 場所 体育館、研修室1・2
- (6) 経費 20円/1作品
- (7) 指導 依頼のある場合、製作方法等について、自然の家職員が説明を行います。

### 3 準備物

団体	救急薬品
個人	特になし
自然の家	材料：真竹材（肉厚）2枚、輪ゴム2本、リボンひも 用具：小刀、半丸型棒やすり、紙やすり、油性ペン、作業板

### 4 引率者の役割分担

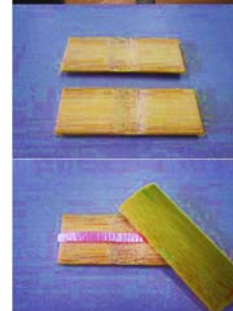
代表責任者	1名。全体の総括、指揮、連絡にあたる。
活動支援者	数名。子どもたちの活動を支援し、安全と事故防止に努め、緊急時に対応する。



<材料の竹材>

## 5 活動の流れ

	内 容
説 明	<ul style="list-style-type: none"> <li>参考作品を提示しながら、竹のハーモニカを実演し、作り方について説明</li> <li>用具の使い方と安全について説明</li> </ul>
活 動	<p>①竹の内側（はだいろ面）を小刀と紙やすりで平らにする。 紙やすりを机などに置いて竹をこすり付けてもよい。 ※表の皮も小刀で削り、磨くとより美しく仕上がる。</p> <p>②竹の内側の真ん中を半丸型棒やすりで、少し広めに削り、へこませる。（凹状にする） へこませたら、リボンひもを二つの竹の間に挟み、試し吹きをする。 （竹のすき間に口で息を吹き込む）</p> <p>③音が鳴るようになったら、輪ゴムで両サイドを縛る。</p> <p>④完成作品に油性ペンで絵や文字を書いてもよい。 竹のハーモニカを持って外に出て、いろんな葉っぱをハーモニカに挟み、吹いてみる。</p> <p>※音が鳴りにくい場合は、竹の内側を削ってへこみを深くする。 ※挟む物は、薄くて切り口がまっすぐのものがよい。 葉っぱなら、薄い部分を切りとって挟むと、音が出やすい。 ※挟む物はピンと張るようにして挟む。</p>
まとめ	<ul style="list-style-type: none"> <li>感想発表や友達の作品の鑑賞</li> <li>用具の返却と後片づけ</li> </ul>



## 6 実施上の留意点

- 2週間前までに、製作数を自然の家に連絡する。

## 7 安全に実施するためのポイント

- 刃物を扱うときは、刃の前に指や手を置かないように十分気をつける。
- 用具を散乱させておかないように注意する。
- 自然物を採取する際は、注意が必要な動植物があるので確認し、スズメバチや毒ヘビに遭遇した場合の注意を徹底し、軍手を着用させる。